

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	玄関が狭いので、17時ごろ帰宅利用者が集中して混雑します。時間をずらす、送迎車の待機者は多目的室で待機する等工夫していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	定員10人に対して職員4人の配置で考えておりますが、職員に欠員が出た場合は手薄になります。その際は、グループワークを入れる等プログラムを工夫して職員に負担が行き過ぎないようにします。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	3	階段昇降時、歩行が不安定な利用者やてんかん発作のある利用者の見守りや同行を実施していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	3	0	現状毎日とはいきませんが、職員に改善点やストレスの聞き取りを行うようにしています。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	年度末の評価表の他に、保護者向けイベントでもアンケートをとりニーズを把握するように心掛けています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	1	毎年公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	2	今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	令和5年度は常勤職員に9つの研修を受講させています。これからも積極的に研修には行って頂ける環境を作るよう努力致します。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	今後も就労で求められる基準、障害特性、本人の気持ち、親の希望、QOL等考慮しながら、本人が「やってみたい」と思えるような計画を立てられるように努力します。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0	独自のアセスメントシートを活用していますが、今後5領域との関係性を明確にする必要があるので適宜書式を更新していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	主にグループプログラムになるが、個人で職員が作ってきたものを実践しながら、改善点を上げアップデートしています。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	内職の納期があるときや、職員に欠員が出た時は固定化してしまうことがあるが、基本的には7つのプログラムを障害度合い問わず設定するようにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2	0	長期休暇は人数が多いのでグループワークを多めに設定しているが、それ以外は基本的に平日と変わらず、本人の目標に沿って設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	全体で行うグループプログラムと同じ障害度合いの3～4人で行うグループワークを適宜行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	0	送迎対応等で全員に細かく打ち合わせをしきれていない部分があるかもしれません。支援にあたる職員が混乱しないように、きめ細やかな対応を心掛けます。

	①6	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	2	2	支援終了後は、連絡帳記入や翌日の準備で時間が取れていないのが現状です。適宜、個別に話していますが、職員からの要望が多い場合は、準備を翌日に回す等工夫の余地はあります。
	①7	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	常勤は毎日記録を確認するようにしています。また支援をする上で注意点がある利用者には管理者から個別に伝えるようにしています。
	①8	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	半年ごとに面談し、計画を作成しています。
	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3	0	就労特化型のデイサービスなので、就労に関係するプログラムが多く、必ずしもできているとは言い難い。他のデイとの協同企画等考えていきたい。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	児発管が出席しています。
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	保護者を通じて学校予定を確認しています。また、連絡事項は直接学校からメールで情報が伝達されます。さらに年に1回は事業所向けに説明会が開催され、出席しています。
	②2	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	1	対象となる児童は申し込みに至っていません
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	5	2	主に中高生の利用者が多いので対象となる利用者がいません。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	1	同一法人の成人拠点では、これまで取り組んできた方針や本人の様子など必要に応じて共有しています。また他の進路先については、必要があればしています。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	ひまわり学園の出張カンファレンスは毎年受けて支援の参考にしています。このほか、必要に応じて児童が併用しているデイサービスに出向いたり、どっぼの様子を見ていただきました。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	1	6	0	機会が提供できていません。
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	2	北区地域協議会の子ども部会の放課後等デイサービスの交流会に出席しました。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	LINEを使ってプログラムの様子や見えてきた課題をきめ細やかに伝えています。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	2	モニタリング面談の際に困りごとを聞き取り、どっぼの視点からアドバイスを行っています。また、保護者からの相談を随時受け付けています。
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	契約時、丁寧に説明しています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	随時受け付けています。

保護者への説明責任等	③②	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	2	保護者会ではないが、保護者向け勉強会を年に1度開催しています。そこで保護者同士が繋がるがあります。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	本年度は苦情はありませんでしたが、苦情を受けた際は、管理者と理事で速やかに解決を図って行きます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	0	会報の定期配信はしていませんが、ホームページで活動概要、行事予定は公表しています。連絡体制は契約時に保護者へ説明していますが、LINEで随時連絡がとれる体制を整えています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	6	1	0	写真の使用などは事前に保護者に許可を取っています。アセスメントなどの個人情報は鍵付きのキャビネットに保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	必要に応じて手話や筆談、イラストなどの視覚化を支援と組み合わせています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	2	そのような機会は持っておりません。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	1	0	契約時にフローチャートを使って書面で説明しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	6	1	0	年2回（春・秋）の定期避難訓練の開催をしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	年1回の法人内全体研修を受講したり、事業所向けの研修に参加させています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	0	児童や他の周囲の人に危害が及ぶ場合、また危険が想定される際には怪我のないように対象児童の身体を抱えて安全な場所で個別対応すること、その必要性がある場合には適宜報告することを支援計画作成時に個別に確認・記載しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	0	受け入れ時に確認して、アナフィラキシーを持っている方は指示書をもらっています。それに基づき職員研修を行って、対応できる体制を整えています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	書式を簡素化してから、ヒヤリハットの件数が増えて職員の意識が高まったように思います。

※職員数7名中7枚回収